

福山平成大学 公開講座

未来を育む・支える・創り出すーこれからの社会を考えるー

第1回 これからの「教育」の方向性を考える：最新の政策動向を中心に
8月28日（木） 黒木 貴人 准教授（こども学科）

第2回 元気な今だから考えたい！これからの暮らしと医療
～人生会議（ACP）の進め方～
9月4日（木） 奥田 亜矢 准教授（福祉学科）

第3回 レジリエンス（精神的回復力）を育むー子どもの健康問題から考えるー
9月11日（木） 近藤 千穂 講師（健康スポーツ科学科）

第4回 地域包括ケアとこれから～地域共生社会の実現に向けて～
9月18日（木） 荒井 葉子 教授（看護学科）

第5回 学習リソースの1つとしての生成AIー学び続けるためのイマドキの手法？ー
9月25日（木） 松葉 龍一 教授（経営学科）

受講料無料

4講座以上の受講者に受講証書を授与

【毎週木曜日】18：30～20：00

福山平成大学 7号館大講義室

定員250名

【申込方法】

右のQRコードからお申込みいただけます

QRコードが読み取れない方は、

<https://forms.office.com/r/nrunD4phWJ> からお申込みください

（個人情報の取扱いについて）

個人情報につきましては、本公開講座に関する連絡以外に使用することはありません



問い合わせ：福山平成大学 庶務課
〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

電話：084-972-5001

主催：福山平成大学 後援：福山市教育委員会

「未来を育む・支える・創り出すーこれからの社会を考えるー」

子どもの健康や高齢者の医療、教育の動向、地域包括ケア、生成 AI など、日々の暮らしや社会の未来に関わる多様なテーマを取り上げます。身近な視点からこれからの社会のあり方を考える機会として、どなたでもご参加いただけます。多世代での学びと交流の場となりますことを期待しています。

第1回 8月28日「これからの「教育」の方向性を考える：最新の政策動向を中心に」

黒木 貴人 准教授（こども学科）

日本の教育をめぐるっては、不登校やいじめなど様々な課題が指摘され、それらの課題を克服するための改革が叫ばれています。また、ICT や生成 IA の活用なども含め、様々な教育方法が開発・模索されています。令和 6 年末には文部科学大臣が中央教育審議会に対し次期学習指導要領の改訂を諮問しました。本講座では同諮問も含め、近年の教育政策の動向を押さえ、これからの「教育」の方向性を受講者の皆様と共に考える時間を作っていきたいと思います。

第2回 9月4日「元気な今だから考えたい！これからの暮らしと医療～人生会議(ACP)の進め方～」

奥田 亜矢 准教授（福祉学科）

人生の最終段階に向けて、「どのように生きるか」を主体的に考えることは、個人の尊厳を支えるうえで重要です。しかし、終末期に関する意思決定について十分に考える機会は限られているのが現状です。本講座では、まず「人生会議（ACP）」の基本を学びます。そのうえで、私の看取りの経験を踏まえ、意思決定支援や倫理的課題について考えます。

人生の最終段階における意思表示とその実現可能性について、参加者の皆さまと議論を深め、最期まで尊厳をもって過ごすための準備を一緒に考えていきましょう。

第3回 9月11日「レジリエンス（精神的回復力）を育むー子どもの健康問題から考えるー」

近藤 千穂 講師（健康スポーツ科学科）

近年の社会環境や生活環境の急激な変化は、子どもの心身の健康に新たな課題を生み出し、保健室来室理由では、身体的な問題よりも心に関する問題が多いこと、医療機関等との連携を必要としている子どもが増えていることなどが明らかになっています。このような状況の中で、困難な状況に出会っても立ち直る力、精神的回復力「レジリエンス」に着目し、どんな人が精神的回復力が高い人のか、それは果たして育めるのか、ストレスの影響等、心身ともに健康であるために大切なことについて先行研究を交えてお話しします。

第4回 9月18日「地域包括ケアとこれから～地域共生社会の実現に向けて～」

荒井 葉子 教授（看護学科）

今年 2025 年は、団塊の世代が 75 歳以上となり、国民の 5 人に 1 人が後期高齢者となります。そのような中、我が国では、地域共生社会の実現が大きな目標となっています。超高齢社会において、人と人、人と社会がつながり支え合う環境をつくり、誰もがその人らしく生きていける社会の実現に向けて何ができるか、みなさまと一緒に考えてみたいと思います。

第5回 9月25日「学習リソースの1つとしての生成 AIー学び続けるためのイマドキの手法？ー」

松葉 龍一 教授（経営学科）

ニュース番組などで「生成 AI」という語を聞かれたことは多いと思いますが、実際に生成 AI を利用されることがありますか？これからの社会では、皆さんが何かを知りたい、学びたい！と考えられた時に、生成 AI は皆さんのより良い学びを実現するための学習リソースの 1 つになると予想します。いまの社会人に求められている情報リテラシー（情報活用技術）の 1 つとなる生成 AI の利活用について、生成 AI は何ができるのか？どうやって情報を提示しているのかなどを、実際に生成 AI を利用しつつ学びます。